

ほしだ あつし
星田 淳さん



エスペラント語のおかげで 世界中の人と交流できます

エスペラント語とは、ポーランドの眼科医ザメンホフが考案した、どの国や民族にも属さない中立公平な国際語で、日本に伝わって百年の歴史を持つ言語です。「単語も数が少なく、書いてあるとおりで発音でき、文法も簡単に自由に応用できるので、とても易しいですよ」と苦小牧エスペラント会と北海道エスペラント連盟の代表を務めている星田さん。

そんな星田さん自身がエスペラント語の存在を知ったのは、まだ子どものころに「人が創りあげた言葉がある」と父親が話してくれた時であった。どんな言葉に興味を抱いたものか、それがエスペラント語だということを知らぬまましばらく忘れていたが、16歳の時古本屋でエスペラント語の教本を見つけ父の言葉を

思い出した。手にとり、その本を読んでいるうちに「これは私にも出来るのではないか」と思い学び始めた。

自分だけで学ぶより仲間と一緒に考え、苦小牧エスペラント会を創設。現在も講習会などを行ったりと意欲的に活動しています。その講習会ではABCから簡単な会話、文法ができるようになることを目標に教えています。「5月半ばからアイビー・プラザで週一回のペースで始まっていますが、途中からでも大歓迎です。国際語を身に付けませんか。学ぶことによって、世界中の人と知り合うことができます」。

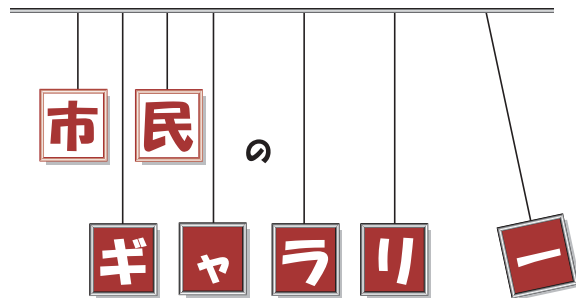
エスペラント語を通して世界中の情報を集めることができ、国際情勢に興味を持てます。「外国で起きた戦争や紛争などは、日本国内で得られる情報は限られていて、真実が見えないことがあります。世界中から情報を集めて、真実を伝えていくこともエスペラントを学ぶ者の使命だと思えます」と、エスペラント語の普及に意欲を燃やしている。



profile:

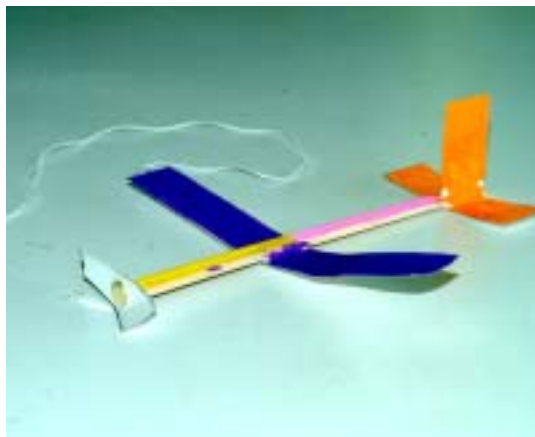
- 1931 / 札幌市で生まれ、熊本県、中国で過ごす
- 1953 / 就職のため苦小牧市へ転入、その後道内を転勤
- 1961 / 苦小牧エスペラント会を創設
宮の森町在住

エスペラント語を使ってみよう
Saluton(サルートン): 朝・昼・晩
いつでも使える軽いあいさつ
Dankon(ダンコン): ありがとう



東小5年 金子 立樹くん

丈夫に作るため、のりではなくセロハンテープを使ってわりばしに主翼や尾翼をつけました。思ったよりも難しく、特に尾翼に色をぬるのが難しかったです。



紙飛行機

あなたが作った絵画、書道、工芸などの作品や、思い出の写真や感動した風景写真などを投稿してください。作品は投稿者の写真を添えてください(ご連絡いただければ撮影に伺います)。写真はプリント、リバーサル、デジカメ(100万画素以上のカメラでファインモード以上)のデータ可で、100字程度のコメントを添えてください

仲間としよう

Circle & Community



宮の森花と緑の会

代表 / 川越 俊隆さん
☎73 3674
活動場所 / 宮の森町内

平成元年に宮の森町内会の花好きの有志が集まり会を発足。種をまくことから始め、ハウスで成長させ、その後花壇に植え替えます。常時自主的に10人ほど集まるほか、町内に5カ所ある花壇に植え替える時には約80人ものメンバーが集まり作業を行います。この熱心な活動が実を結び、道主催の「北のまちづくり賞」の花と緑部門で奨励賞を受賞、町内会花壇コンクールでも16年間トップの成績を収めている。

「ここまで活動を広げることができたのも場所を提供してくれた有志の方と町内の皆さんの協力のおかげです」と川越さん。花を植えるようになってみんなの美化意識が高くなり自主的に清掃する人も増えた。「今後もきれいなまちづくりを目指したい」と37種の花が咲き誇る日を待っている。

みんなの声

用紙の無駄が少なくなる方法を 検討していきます

ご指摘のありました白紙のページはこの課税明細書ですが、現在は8物件まで印刷できる連続した用紙を使用し、8物件を超える方には、別な用紙に印刷して同封する方法で行っております。そのため、用紙全体のページ数を減らしますと別用紙で印刷される件数が増えることになり、この別用紙での送付は一件一件つけあわせて同封しなければならず、苦慮しているところであります。

今後これらの点を考慮し、用紙の無駄が少しでも少なくなる方法を検討してまいります。

固定資産税の通知書の 白紙部分について

固定資産税の通知書が今年も届きました。私の通知書は説明や明細を含めても紙が6枚おさまります。それなのに毎年、12枚の通知書が届き、6枚が白紙の状態です。札幌からも通知書が届きますが、札幌は白紙の紙などついてきません。白紙の紙がついてくるのは無駄ではないでしょうか。白紙の紙を付けないようにするにはコストがかかるのかもしれませんが、長い目でみると環境的にも財政的にも良くなるのではないですか。

投稿募集

身の周りの出来事や最近思うことなど自由な投稿を募集中。内容を300字以内(まとめ住所、氏名(紙上匿名)年齢、電話番号を記入の上〒053-8722 旭町4丁目5番6号広報広聴課へお寄せください。原稿は要約することもあります。☎は32 1117、Eメールはkoho@city.tomakomai.hokkaido.jp